

各 位

富山県農林水産部長
(公印省略)

森林等屋外での作業におけるダニ刺咬に関する留意事項について (通知)

日頃から、林業行政推進にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今般の報道にあるとおり、本年 9 月 3 日、石川県内の男性がダニ媒介性疾患「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」に感染・死亡が確認されました (北陸 3 県で初確認)。

SFTS は、森林や草地等の屋外に生息しているマダニに咬まれることにより、SFTS ウィルスに感染することによって引き起こされ、重症化し、死亡することもある病気です。

現在、富山県内で SFTS に感染したことが確認された方はありませんが、平成 25 年 8 月 29 日に公表された厚生労働省研究班の調査結果では、富山県を含む患者の発生の無い自治体のシカ、イノシシ等の野生動物や猟犬の血液から、病症の原因となる SFTS ウィルスに対する抗体が陽性となるものがあることが明らかになっています。

SFTS には有効な抗ウイルス薬が存在せず、現時点では対症療法しかないことから、マダニに咬まれないよう注意する必要があります。

つきましては、森林等屋外での作業を行うにあたり、下記の情報のほか、添付した参考資料に十分留意し、作業員や職員等への注意喚起をお願いいたします。

記

●重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) について

1 国内における症例・発生状況

2011 年に初めて特定され、国内では 2012 秋に山口県で初めて症例が確認された。
H27 年 8 月 26 日現在、西日本を中心に 20 府県、151 人感染、内 41 人の死亡確認。

2 感染経路

ウィルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染

3 症状

・発熱、倦怠感、食欲低下、消化器症状 (吐き気・嘔吐・腹痛・下痢)、リンパ節腫脹、出血症状 (下血)
・潜伏期間: 6 日～2 週間程度

4 感染予防等について

・マダニに咬まれないようにすることが重要です。
別添資料や以下のホームページを参考にしてください。

●富山県厚生部健康課ホームページ (重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) について)

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1205/kj00012809.html

●厚生労働省ホームページ (重症熱性血小板減少症候群について)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts.html>

●国立感染症研究所ホームページ (マダニ対策、今できること)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>



キーワード検索

富山県 マダニ

検索



(事務担当 森林政策課森づくり推進班担い手担当)